

ボランティアセンター通信

この春、新しいことを初めてみませんか??

講座あります!是非ご参加ください

ボランティア活動を支える、傾聴とコミュニケーションについて学ぶ2日間講座を開催します!

これからボランティアをはじめたい方、高齢者分野での活動に関心がある方、今後の活動に活かしたい方など、心に寄り添う聞き方や、高齢者への関わり方、取り巻く環境についても一緒に学んでみませんか?たくさんのご参加をお待ちしています!

ボランティアセンターをご活用ください!

ボランティアに関心のある方、何かはじめてみたいと考えている方、ボランティアを始めて見ませんか?中区ボランティアセンターでは「なにかボランティアをしてみたい!」「こんな特技があるんだけど、ボランティアに活かせないかなあ」などなど、ボランティアに関する様々な相談をお受けすることはもちろん、これから開催する講座の案内も行っています!どうぞお気軽に立ち寄りください。

『やさしさ発見プログラム』をご存じですか?

一人ひとりの「生きる力」や「福祉のこころ」を育む生涯学習として実施しています。

内容は、点字や手話の学習、車いすの体験、盲導犬とのふれあいなど。

また、高齢者疑似体験セット、アイマスクなどの機材の貸し出しなども行っています。

子どもから大人まで幅広く対象としていますので、地域の小中学校の他、地域にお住まいの方や企業などの団体も利用可能です。是非、ご活用ください!

お申込み・お問合せ

内容やプログラムの組み立て方、講師の紹介など、各区の社会福祉協議会がお手伝いします。まずはご相談ください。

平成28年度

ボランティア活動保険のお知らせ

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

更新手続きはお早めに!現在加入中のボランティア活動保険の補償期間は、平成28年3月31日迄です。

ボランティア登録をしている社会福祉協議会で、更新手続きを行ってください。

*詳しくはお問い合わせください。

「なかくボランティアまつり」に
ご協力いただきありがとうございました!!

平成27年10月24日(土)に「第19回なかくボランティアまつり」を開催しました。前年を大きく上回る、830名の方にご参加いただきました。ご参加いただいた方をはじめ、バザー商品をご提供いただくなど多くのみなさまのご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。来年度は「第20回」の節目を迎えます。一緒にまつりを盛り上げましょう!

*バザーの収益金は、中区のボランティア活動推進に大切に使わせていただきます。また、収益金の一部を「台風18号大雨災害義援金」として寄付させていただきました。

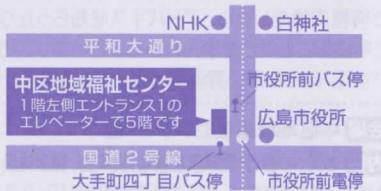
社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会/ボランティアセンター

TEL.082-249-3114 FAX.082-242-1956

〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階

✉ naka@shakyohiroshima-city.or.jp □ http://shakyohiroshima.jp/naka/

申し込み
問い合わせ



この広報誌は共同募金の配分金により作成しました。

まちづくり

No.87

社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会/平成28年3月 発行

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号 大手町平和ビル5階 Tel.082-249-3114 FAX.082-242-1956 Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp

中区防災訓練・防災フェア



▲防災物品体験コーナーの様子。
毛布が担架になります

千田地区



▲地域の方の手作りのかまどで行われた
炊き出し訓練の様子です

中区防災訓練・防災フェア(生活避難場所運営マニュアル検証訓練)が、去る9月27日(日)に袋町地区で、11月29日(日)には千田地区で実施されました。

これは各関係機関の連携体制を強化し、自主防災会の行動力と地域住民の防災意識の高揚を図るとともに、災害に強い市民の育成強化を目的に開催されたものです。地区住民を中心に、それぞれ多くの参加があり、袋町地区では外国人市民の方々も参加されました。

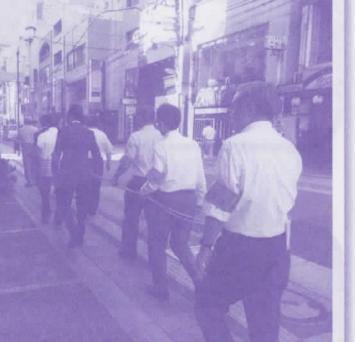
内容は、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、避難訓練や小学校体育館での生活避難場所運営マニュアルの確認、炊き出し訓練等のほか、中区社会福祉協議会もパネル展示により災害ボランティアセンターの紹介を行いました。あわせて実施されたAED取扱いや救護、防災物品体験等にも多くの方が参加され、熱心に聞き入る姿に防災意識の高まりを感じました。

袋町では避難訓練にあわせて経路の危険箇所確認を行ったり、本通商店街で救出救護訓練を行ったほか、千田地区では地元の日本赤十字社広島県支部より、災害時救護活動の紹介やAEDの説明をされたり、地域住民が多く参加され、炊き出しや防災物品体験等では積極的に運営に関わるなど、それぞれの地域で主体的に考えて取り組まれていたことが印象的でした。

近年は災害が続いている、まちづくりの上で防災は大きな課題となっています。

福祉も防災も基本は住民同士のつながりが重要であり、この訓練を通じて得られたものは、両地区のより良いまちづくりに必ず活きるものだと感じました。

袋町地区



▲街頭検査をしながら避難場所へ
移動しています

▲AED訓練の様子です



防災意識を
高めよう!!

